

# 「産業、なりわい」を守る砂防事業（伝統的産業【世界農業遺産】）

- 火山堆積物等による脆弱な地質と急峻な地形を有する地域で事業を行う狩野川水系直轄砂防事業では、土砂災害に対して地域が安全となるよう砂防施設の整備を推進。
- 大見川の皮子沢砂防堰堤は下流域を土砂・洪水氾濫被害から保全するとともに、沿川の「筏場のわさび田」への土砂流出を抑制し、山間地の貴重ななりわい保全に寄与。いかだば ※当該地域を含み、世界農業遺産「静岡水わさびの伝統栽培（発祥の地が伝える人とわさびの歴史）」に認定
- 令和7年度には わさび田へのアクセスにも必要な主要交通網を保全する墓道洞砂防堰堤の整備に新規着手。はかみちぼら



## 伝統的産業 伊豆市のわさびを保全 写真提供：伊豆市



- ・ 静岡県のわさびは栽培面積（根茎）、生産量、生産額で全国1位のトップランナー
- ・ なかでも栽培発祥地の静岡地域、畳石式栽培が開発された伊豆地域を合わせた伝統的なわさびの栽培面積と生産量は県内の9割以上を占める
- ・ 伊豆地域では最高級品種の真妻（まづま）系も栽培

## 筏場（いかだば）の大崩壊

昭和33年狩野川台風で大規模な崩壊が発生。急峻な地形や脆弱な地質から土砂災害のおそれが高い地域。



## 地域の主要交通網を保全

地域の主要交通網である県道伊東西伊豆線等を保全するため令和7年度から新たな砂防堰堤の整備に着手

世界も認める伝統的産業、山間地の貴重ななりわいを砂防事業が保全

出典：地理院地図Vector